

修士論文執筆要領 【ドイツ文学ドイツ語学領域】

(「大学院履修心得」の規定とこの「執筆要領」の両方を参照すること)

【A】 論文全体の体裁

1. 表紙/白紙/目次/本文/参考文献リスト/(その他添付資料等)/裏表紙で構成する。
2. 原則としてワープロソフトを用いて作成する。(手書きの場合は教員の指示に従う)
3. A4用紙の左に35ミリ(穴あけ部分)、上・下・右に25ミリの余白を設ける。
4. 日本語で「本文」1ページ横書き **40字×30行**の設定をする。(ドイツ語で書く場合は教員の指示に従う)
5. 原則として、本文17ページ以上25ページ以下のページ数とする。

【B】 構成部分の体裁

1. 「表紙」は生協のものを¹、「目次」は各自が作成する。
2. 「本文」は上記【A】3.の設定とし、各ページ下部中央にページを振る。
3. 「注釈」はページごとに脚注を付け、注番号は右肩に番号を振る設定にする。
(細部は各自の使用するワープロソフトの自動設定に委ねてよい)
4. 「参考文献リスト」の作成は指導教員の指示に従う。特に指示がない場合には、日本語文献は作者姓の「あいうえお」順、外国語文献は作者姓の「abc...」順に並べる。
 - 1) 日本語単行本の場合：作者名(訳者名)/書名/(巻数)/出版社名/発行年
(例) ライナー・ローゼンベルク(山形・岩坪訳)『ドイツ文学研究史』大月書店1991年
 - 2) 日本語論文の場合：作者名/論文名/掲載書誌巻数等/発行所/発行年
(例) 稲生 永「ホフマン変化」『ユリイカ』第7巻2号 青土社1975年
 - 3) ドイツ語単行本の場合：作(編)者名/書名/(巻数)/(出版社名)/発行地/発行年
(例) Bohrer, Karl Heinz: Die Kritik der Romantik. Der Verdacht der Philosophie gegen die literarische Moderne. Suhrkamp Frankfurt/M 1989.
 - 4) ドイツ語論文の場合：作者名/論文名/掲載書誌等/発行年/(号数)
(例) Benjamin, Walter: Das dämonische Berlin. [In:] Sinn und Form. 1984/4.Heft
 - 5) Internetの場合：サイト・アドレス名(例) BMW Japan: <http://www.BMW.co.jp/>

【C】 提出期限・提出部数

1. 提出期限は例年**1月16日前後**(9月修了の場合は7月上旬)であるが、年度によって変動するので締め切り日時を確認、厳守すること。(締切に遅れた場合にはいかなる理由があっても提出はできない)
2. 論文は3部(コピー可)作成してすべて事務室に提出する。

【D】 文献からの「引用」に関する規定(2007年度追加)

1 関学生協の文具コーナーで透明プラスチック製の「ホルダー」3個と「卒論」表紙の表裏3組を購入し、「卒業論文」の部分を「修士論文」に書き換える。

最近論文にネット・サイトからの情報を引用するケースが増えている。ドイツ文学・ドイツ語学専攻ではその際の「規定」を2007年度「修士論文執筆要領」から導入したので、それに従うこと。

1. 引用する記述・情報は基本的に印刷された本・雑誌などから取る。
2. 引用の際には、検証可能な形で引用箇所を明示し、出典を明記しなくてはならない。
(無断で他人の記述を引用することは、「剽窃」という「犯罪」である。)
3. 最新情報が特定の **Website** でしか得られない場合には、そこからの引用を認める。
4. 上記3. の場合、**Website** の記述が信頼できることをある程度証明できなくてはならない。(日・独などの公式サイトに掲載されているデータは可。個人のブログやサイト、自由に書き換えがきく **Wikipedia** などは不可。)
5. **Website** の文章を借用して作成した論文であることが判明した場合、上記2. で述べた「剽窃」に当たる上、論文の「偽造」になるので、修士論文の評点は「0点」とする。
6. インターネットを活用した文献検索や情報検索は大いに推奨するが、修士論文にネット上の情報を掲載する場合、また論文がネット上に掲載されている場合等、紛らわしいケースでは、指導教員の助言と承認をえるようにする。